

授業No.5

T.Q.「ソクラテスの説く問答(もんどう)法とは
どういうものか？」 教科書P.30～

向出 研司: 石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書P.30・31

T.Q.「ソクラテスの説く問答(もんどう)法とは
どういうものか？」

1. 無知の知
2. 対話
3. 問答(もんどう)法
4. 産婆術(助産術)

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. ソクラテスの登場と本格的哲学
2. 「知ったかぶり」と真逆の「無知の知」
3. 問答法（対話法）と「無知の知」

T.Q.「ソクラテスの説く問答(もんどう)法とはどういうものか？」

② ソクラテス登場

教科書P.30～

...人間について and 絶対的・客観的

∴ B.C.5C末、アテネの民主政が衆愚政治化

(1) フィロソフィアの態度

「愛知」→フィロソフィー「哲学」 

1 「無知の知」=哲学のスタート ※1

...「私は自分が善や美の真理を知ってはいない
ということを実感している」

←「ソクラテスにまさる知者はいない」(神託)の解釈

∴「汝自身を知れ」ということ

2 魂への配慮...金とか地位だけに心を配るのはNG

プシュケー 注:これらを否定してはいない

→青年に多大な影響

1/2枚目のスライドはここまで！

2 魂への配慮...金とか地位だけに心を配るのはNG

プシュケー 注:これらを否定してはいない

→青年に多大な影響

————— ここから

3 問答法

cf. 産婆術のたとえ ※2

∴対話によって無知を自覚させ、真の知を生み出させる

(2) よく生きる...「うまく生きる」や「ただ生きる」のはNG ※3

1 知徳合一 cf.「アレテーを知れば、それを行うことができる」
「道徳」

2 知行合一...言動一致

※T. A. まとめスライドへ

cf. 死刑を受け入れる←「悪法もまた法なり」

∴法(きまり)それ自体は必要。改善すればよい ※4

3 福德合一 cf.「真の幸福とは道徳的に生きること」

最後のスライドはここまで!

T.Q.「ソクラテスの説く問答(もんどう)法とはどういうものか?」教科書P.30~

=ソクラテス

※1

無知の知

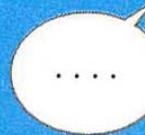


公正な政治のことなら
何でも聞いて
くれたまえ。



①

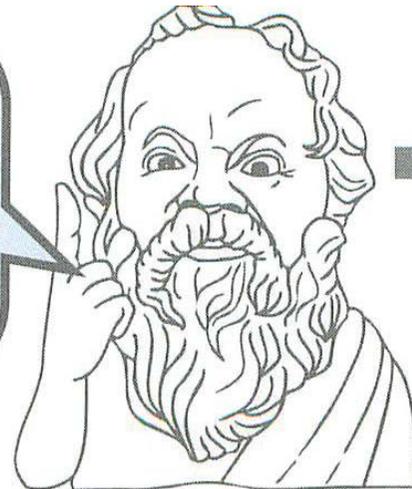
そもそも「公正さ」
とはなんでしょう？



クリック①～③で、
説明

「公正さとは何か」を、
私も知らない。
しかし知らないという
ことを知っている点で、
私は彼に勝るのだ。

②



無知の知



③

真の知へ近づく第一歩
となる

「知への愛」の出産を助ける



ソクラテスは青年たちとの
問答にあげられる。

問答により青年たちに
「無知」を気づかせる。

①



本当のこと、真の知
を知りたいという
欲求を生じさせる。

②



さん ばじゅつ
産婆術

③

「知への愛」の出産を助ける

※2

クリック①～③で、
説明

ソクラテスの最期

「無知」を暴かれた
知者たち

①

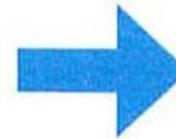
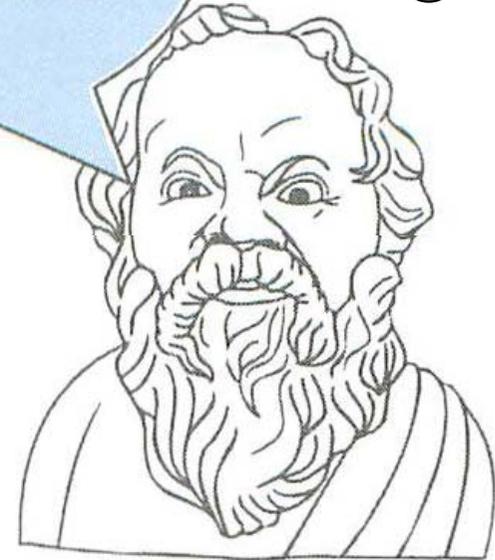


ソクラテスは人心を惑わす者として
「国外追放か死刑」を宣告される。

クリック①・②で、
説明

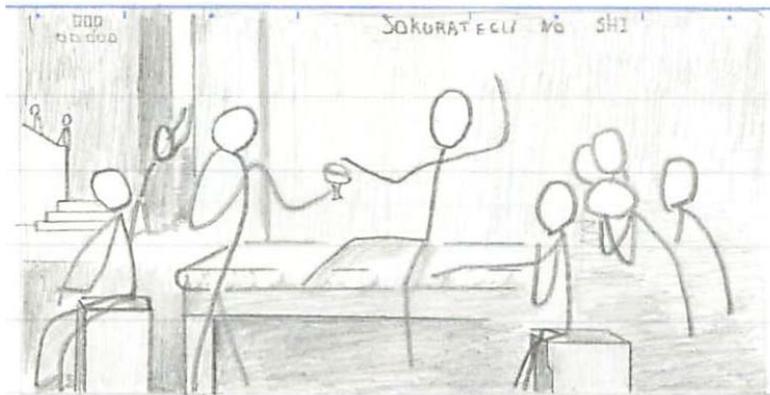
私は魂が不滅であることを
知っている。それなのに
どうして死を恐れるこ
とができようか。

②



何かを知っていながら、それ
を信じないことは「知への愛」
に矛盾すると考えたソクラテ
スは、自ら毒杯を仰いだ。

「よく生きたソクラテスは、『よく死んだ』ともいえる」(MT)



クリックで、私が高校生の時に
倫理のノートに描いた絵



19世紀、フランスの画家
ダヴィッドが描いた「ソクラテスの死」

毒ニンジンのジュースを飲もうとするソクラテス
(左手が指さすのは、魂の世界?)

倫理 授業No.5

T.Q.「ソクラテスの説く問答(もんどう)法とは
どういうものか？」

問答法とは、他者と対話することで真理をともに探究する方法である。対話することで相手に無知を自覚させ、真の知を生み出させることから、産婆(助産)術にたとえられている。たえず自分自身を反省し、自らの独断を避けようとする問答法の態度から、現代の言論の自由や民主的な考え方が生まれている。